

令和5年度 栃木県立日光明峰高等学校 学校評価シート（案）

- 学校教育目標
- 伝統や文化に立脚した広い視野を持ち、自己実現に向けて個性や能力を伸ばし、人生を拓いていくことができる人間の育成
- 他者への思いやりと規範意識を持ち、多様な人々と協働しながら、社会の一員として地域に貢献できる人間の育成
- 本年度の重点目標
- 特例校としての「学校力」を最大限に発揮するための学校経営の充実
- 生徒一人一人に、自らの成長を実感させる指導・教育活動の充実

評価		
A	達成できた	…（80％以上）
B	ほぼ達成できた	…（80％～60％）
C	十分とは言えない	…（60％～30％）
D	達成できなかった	…（30％以下）



学 校 自 己 評 価						学校関係者評価	
学 校 評 価 実 施 概 要					達 成 状 況 と 評 価		令和6年2月5日実施
評価区分	評価項目	重点施策	具体的方策	方策の評価指標	方策の達成状況	部分評価	次年度における改善策
(1)	魅力化・特色化の一層の推進	①ウィンタースポーツの強化、地域の教育資源の活用等、魅力や特色ある教育活動の展開	外部指導者の活用による専攻実技の充実・ウィンタースポーツの強化	外部指導者の活用状況 各種大会の実績	アイスホッケー部で専攻実技に外部指導者を活用。大会の実績面でも健闘。	A	・「日光学」など特色ある教育活動のさらなる充実と次年度で終わる県教委と三菱みらい育成財団助成金に代わる新たな財源を検討する。 ・中学校への情報発信を重視し、本校の魅力や教育成果等の周知を丁寧に行う。
			総合的な探究の時間の増単位に合わせた「日光学」の発展的拡充	地域連携活動の実施状況、学校評価アンケート(生徒)結果分析	他県高校との交流実施、地域連携活動の充実、生徒の肯定的評価9割以上。	A	
		②学校運営協議会と連携を図った学校経営と教育成果等の積極的なPRによる入学者の確保	HP・広報誌・SNS等の効果的な活用による広報活動の推進	進路希望調査・志願者数の推移、広報活動状況の分析	明峰だより隔月発行を継続。HPも随時更新。進路希望者数は昨年度より微減。	B	
			一日体験学習やオープンスクール、中学校訪問等による中学校との連携	参加者数の推移 参加者アンケート結果分析	一日体験学習、オープンスクール共に参加者が昨年度より増加。アンケート結果も良好。	A	
(2)	個に応じたきめ細かな指導の充実	①学び直しやTT等による指導の工夫・改善と発展的な力を伸ばすための指導の充実	教科会や研究授業をととした観点別評価に基づく授業改善の推進	教科会、研究授業等の実施状況、学校評価アンケート（教員）結果分析	3観点による観点別評価を実施。初任者研修や中学校教員対象公開授業にて研究授業を実施。	B	・定期的に教科会や授業研究会、教科間での情報共有等を行い、適切な観点別評価の実施やICT活用の研究に取り組む。 ・個々の生徒が授業を通して学力向上を図り、その結果、検定試験の目標にも達することができるような指導をする。 ・個の生徒の教育的ニーズに応じた相談・支援体制の強化に取り組む。
			各種検定受験の推奨と指導の充実	検定受験者数の推移 合格状況の分析	商業科の検定では2年次で2級・3年次に1級取得を目標とし、合格率が飛躍的に上昇。	A	
		②教育相談・特別支援体制の充実と自主性・主体性を育てる指導の工夫・改善	課題や悩み等を抱えている生徒の早期発見とSC等と連携した組織的な対応	SCの活用状況 サポート会議等の実施状況	SCを計画的に活用。サポート会議も毎回行い、組織的な教育活動を展開。	A	
			通級による指導を含めた特別支援教育の充実	委員会等の実施状況 個別の教育支援計画の実施状況及び評価結果	個別の教育支援計画の活用。通級による指導の構築。	A	
(3)	社会的自立に必要な力を育成する指導の充実	①地域社会と連携した教育活動の充実と3年間を見通したキャリア教育の推進	進路別見学会やインターンシップなどのアクティブラーニング型の進路学習の充実	進路行事の実施状況 学校評価アンケート（生徒）結果分析	進路行事は充実しているものの、主旨や目的等が生徒に浸透していないことが課題。	B	・進路講話時に進路行事についての説明や主旨・目的を詳細に話す。 ・地域の企業を中心として協力を仰ぎ、進路行事を充実させる。
			保護者や外部機関とも連携した全体計画に基づく体系的な指導体制の構築	学校評価アンケート（保護者）結果分析	保護者アンケートからも高い評価。	B	
		②「礼・挨拶・身だしなみ・清掃」の徹底と基本的生活習慣の定着のための指導の充実	生徒の意見も参考にした服装や頭髪に関する規定の見直し	規定の見直し状況、学校評価アンケート（生徒・保護者）結果分析	昨年度、生徒の意見も参考に規定の見直しを実施。今年度も肯定的評価は約8割だが昨年度より減少。	B	
			生徒会委員会活動と連携した挨拶運動や美化活動の充実	委員会活動の実施状況、学校評価アンケート（生徒・保護者）結果分析	挨拶運動や清掃強化週間を実施。生徒・保護者の肯定的評価約9割を維持。	A	
(4)	職場環境の改善と安全・安心な学校づくり	①業務の精選・効率化と生徒及び教職員がいきいきと生活できる学校づくりの推進	業務の精選や見直しによる効率的で効果的な教育活動の実践	学校評価アンケート（教員）結果分析	学校行事や業務において、情報共有を行い効率化を企図。	B	・学校行事の内容、時期の見直しや業務の効率化、定期的な情報共有の場を設けて、協働体制や学校組織の強化に取り組む。 ・危機管理マニュアルを指針とした安全管理の徹底及び、防災訓練等を中心とした主体性を育む安全教育を推進する。
			教職員間のコミュニケーションの活性化と職場環境の改善	学校評価アンケート（教員）結果分析	学年会や主任会等の定期的実施。肯定的評価8割。	B	
		②学校事故の未然防止のための教育計画・教育活動の点検・実施の徹底	危機管理マニュアルの点検及び研修の充実による組織力・対応力の強化	学校評価アンケート（教員）結果分析	教頭を中心に改定を進め、全職員で共通理解。	A	
			PDCAサイクルに則った防災訓練の実施	防災訓練の実施状況、学校評価アンケート（教員）結果分析	年2回防災訓練（地震-火災/土砂）及びシェイクアウト訓練を実施。肯定的評価約9割。	A	